



安全データシート

作成日 2009年10月2日
改訂日 2024年4月2日⑧

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: プレキープ 1 キロ粒剤 (ピラゾキシフェン・ベンゾビシクロン粒剤)
1.2 用途: 除草剤
1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152
1.5 作成日: 2009年10月2日
改訂日: 2024年4月2日⑧

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感受性	分類できない

安全データシート

作成日 2009年10月2日
改訂日 2024年4月2日⑧

皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(消化管)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層有害性	分類できない

2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H371 消化管の障害のおそれ H372 長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の障害

注意書き:

【安全対策】	安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。 P260 粉じん／蒸気を吸入しないこと。 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
【応急措置】	応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。 P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
【保管】	保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。 P405 施錠して保管すること。
【廃棄】	廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。 P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

- 3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物
3.2 成分:



安全データシート

一般名	ピラゾキシフェン	ベンゾビシクロン
化学名	4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル- (ピラゾール-5-イルオキシ)アセトフェノン	3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニル チオビシクロ[3,2,1]オクタ-2-エン-4-オン
含有率	100%	20%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質	農薬取締法に規制される物質
官報公示整理番号 安衛法	8-(2)-1206	7-(2)-168
CAS No.	71561-11-0	156963-66-5

(続き)

一般名	鋳物性粉末、界面活性剤等		
化学名	アルキルベンゼンスルホン酸金属 塩	スルホコハク酸ジ-2-エチル ヘキシルナトリウム塩	その他
含有率	0.9%以下	0.7%	86.4%
官報公示整理番号 化審法	(3)-1906	2-1623	ノウハウのため非公開
官報公示整理番号 安衛法	—	—	ノウハウのため非公開
CAS No.	25155-30-0	577-11-7	ノウハウのため非公開

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

眼に入った場合:	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。
吸入した場合:	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かく安静にし、異常があれば医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合:	水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし

4.3 医師に対する特別な注意事項: データなし

5 火災時の措置

5.1 適切な消火剤:	水、粉末、炭酸ガス、泡消火器
5.2 使ってはならない消火剤:	データなし
5.3 特有の危険有害性:	燃焼時、有毒ガス(HCl、NO _x 、SO _x 等)が発生する。
5.4 特有の消火方法:	消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない、有害ガスの吸入を避ける。
5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置:	消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。



安全データシート

6 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立
禁止にする。
- 6.2 環境に対する注意事項: 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警
察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: スコップ、箒、掃除機等を用いて回収する。
- 6.4 二次災害の防止措置: 安全に対処できるならば漏洩を止めること。

7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 取扱い:
技術的対策: 粉じん／蒸気を吸入しないこと。
皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。
安全取扱い注意事項: データなし
接触回避: データなし
衛生対策: 取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 7.2 保管:
安全な保管条件: 施錠して保管すること。
吸湿しないように、密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない冷
涼な場所に保管すること。
安全な容器包装材料: データなし

8 ばく露防止及び保護措置

- 8.1 許容濃度等:
管理濃度: 設定されていない
日本産業衛生学会(2015年
版):
- 8.2 設備対策: 局所排気装置
- 8.3 保護具:
呼吸用保護具: 送気マスク・空気呼吸器・防塵マスク
手の保護具: ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具: 保護衣
- 8.4 特別な注意事項:

9 物理的及び化学的性質

- 9.1 物理状態: 細粒
- 9.2 色: 類白色
- 9.3 臭い: データなし
- 9.4 融点/凝固点: データなし



安全データシート

作成日 2009年10月2日
改訂日 2024年4月2日⑧

9.5	沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6	可燃性:	データなし
9.7	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8	引火点:	データなし
9.9	自然発火点:	データなし
9.10	分解温度:	データなし
9.11	pH:	データなし
9.12	動粘性率:	データなし
9.13	溶解度:	データなし
9.14	n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15	蒸気圧:	データなし
9.16	密度:	0.84 g/cm ³ (見掛け比重)
9.17	相対ガス密度:	データなし
9.18	粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1	反応性:	データなし
10.2	化学的安定性:	通常の条件下で安定
10.3	危険有害反応可能性:	データなし
10.4	避けるべき条件:	データなし
10.5	混触危険物質:	データなし
10.6	危険有害な分解生成物:	燃焼により、HCl、NO _x 、SO _x 等が生成する。

11 有害性情報

11.1	急性毒性:	経口 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット)
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし(ウサギ)
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	軽度の刺激性あり(ウサギ)
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	皮膚感作性なし(モルモット)
11.5	生殖細胞変異原性:	製剤品のデータなし(ピラゾキシフェン及びベンゾビシクロンには変異原性なし)
11.6	発がん性:	製剤品のデータなし(ピラゾキシフェン及びベンゾビシクロンには発がん性なし)
11.7	生殖毒性:	製剤品のデータなし(ピラゾキシフェン及びベンゾビシクロンには生殖毒性なし)
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	製剤品での急性毒性試験において毒性症状は認められていないが、ピラゾキシフェン(区分 2:消化管)を 10%含むことから、区分 2:消化管とした。
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	製剤品のデータはないが、ピラゾキシフェン(区分 1:肝臓)を 10.0%含むことから区分 1:肝臓とした。
11.10	誤えん有害性:	データなし



安全データシート

作成日 2009年10月2日
改訂日 2024年4月2日⑧

12 環境影響情報

- 12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)
コイ LC₅₀ 920 mg/L (96 時間)
オオミジンコ EC₅₀ 110 mg/L (48 時間)
藻類 ErC₅₀ 150 mg/L (72 時間)
水生環境有害性 長期(慢性)
藻類 NOEC 10 mg/L
- 12.2 残留性・分解性: データなし
- 12.3 生体蓄積性: データなし
- 12.4 土壌中の移動性: データなし
- 12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
- 13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(HCl、NO_x、SO_x等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった
場所で法・条例に従って安全に処理する。
- 13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 該当しない
品名: 該当しない
国連分類: 該当しない
容器等級: 該当しない
- 14.2 海洋汚染物質: 該当しない
- 14.3 MARPOL73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸
送される液体物質: 該当しない
- 14.4 輸送又は輸送手段に関する 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよ
特別の安全対策: う積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。
- 14.5 国内規制がある場合の規制 陸上規制情報: 該当しない
情報: 航空規制情報: 非危険物
海上規制情報: 非危険物
- 14.6 応急措置指針番号: 該当しない

15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第22570号
- 毒物及び劇物取締法: 該当しない
- 消防法: 該当しない
- 労働安全衛生法: 第57条(表示対象物質)
ピラゾキシフェン(令和7年4月1日以降)
第57条の2(通知対象物質)
ピラゾキシフェン(令和7年4月1日以降)
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩(令和8年4月1日
以降)



製品名: プレキープ 1 キロ粒剤 (ピラゾキシフェン・ベンゾビシクロン粒剤) SDS No. A-1128

安全データシート

作成日 2009年10月2日
改訂日 2024年4月2日⑧

化審法: 優先評価化学物質 アルキルベンゼンスルホン酸金属塩(第140号)
化管法: 第1種指定化学物質
ピラゾキシフェン(管理番号: 182)10.0%
ベンゾビシクロン(管理番号: 621)2.0% (2023年4月1日以降、化管法
第1種指定化学物質)
第2種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)
※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話	(大阪)	072-727-2499(情報料無料)
	(つくば)	029-852-9999(情報料無料)
		365日24時間対応
中毒110番 医療機関専用有料電話	(大阪)	072-726-9923(1件2000円)
	(つくば)	029-851-9999(1件2000円)
		365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しています。

SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152

SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。